

**(3) 従業地・通学地による人口・
就業状態等集計**

**3.Tabulation on Place of Work or Schooling for Population and
Labour Force**

従業地・通学地による人口・就業状態等集計とは

当該集計は、全ての調査票を用いて、従業地・通学地による人口の構成や現在住んでいる市区町村と従業地・通学地の市区町村との関係などを集計した結果である。この結果によって、昼間人口や昼夜間人口比率などを把握することができる。

これらについての詳細な結果は、下記URL（政府統計の総合窓口（e-Stat））を参照のこと。

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search?page=1&toukei=00200521>

用語の解説

従業地・通学地

「従業地・通学地」とは、就業者が仕事をしている場所又は通学者が通学している学校の場所をいい、次のとおり区分している。なお、外勤の職員、運転手などのように雇われて戸外で仕事をしている人については、所属している事業所のある市区町村を、船の乗組員（雇用者）については、その船が主な根拠地としている港のある市区町村をそれぞれ従業地としている。

区分		内容
自市区町村		従業地・通学地が現在住んでいる市区町村と同一の市区町村の者
	自宅	従業地が自宅の者
	自宅外	従業地・通学地が「自宅」以外の者
他市区町村		従業地・通学地が現在住んでいる市区町村以外の者
県内	自市内他区	政令指定都市に住んでいる者のうち、従業地・通学地が同じ市内の他区の者 東京都特別区部内に住んでいる者のうち、従業地・通学地が他区の者
	県内他市町村	従業地・通学地が同じ都道府県内の他市町村の者
他県		従業地・通学地が他の都道府県の者
従業・通学市区町村「不詳・外国」		従業地・通学地が現在住んでいる市区町村以外であるが、市区町村名が不詳の者又は外国の者
従業地・通学地「不詳」		従業地・通学地が不詳の者

夜間人口（常住地による人口）

調査時（令和2年10月1日）に調査の地域に常住している者をいう。

昼間人口（従業地・通学地による人口）

当該集計の結果を用いて、次の式により算出された者をいう。

なお、夜間勤務及び夜間通学の者も昼間人口に含まれているが、買い物客や観光客などは含まれていない。

[例：A市の昼間人口の算出方法]

A市の昼間人口＝A市の夜間人口－A市からの流出人口^{注1)}＋A市への流入人口^{注2)}

注1) A市からA市以外への通勤・通学者数

注2) A市以外からA市への通勤・通学者数

昼夜間人口比率

次の式により算出され、100を上回っているときは昼間人口が夜間人口を上回ることを示し、100を下回っているときは昼間人口が夜間人口を下回ることを示している。

[例：A市の昼夜間人口比率の算出方法]

A市の昼夜間人口比率＝（A市の昼間人口／A市の夜間人口）×100

その他の用語

その他の用語は、「用語の解説」を参照のこと。

利 用 上 の 注 意

- 1 本文及び図表中の数値は、表章単位未満で四捨五入している。なお、増減率や割合などの各種計算値の算出に当たっては、単位未満を含んだ数値を用いている。
- 2 不詳補完値については「不詳補完値の算出方法」を参照のこと。

Notes

- 1 The figures in this report are obtained by rounding. In computing the various calculated values, such as percentages and ratios, figures less than the unit are used.
- 2 For the results with imputation, see "The Calculation Method of the Imputed Values."

I 従業地・通学地別人口

1 従業地・通学地別人口

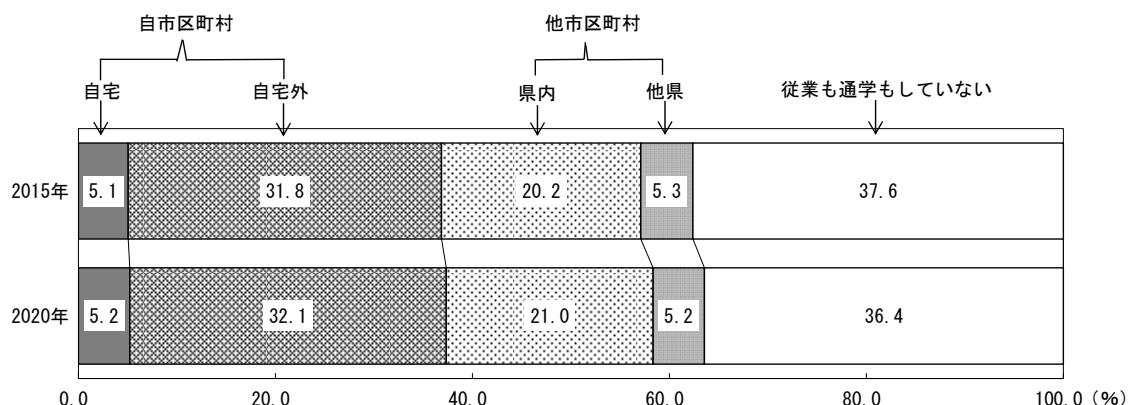
従業又は通学をする者の割合は上昇

総人口（1億2614万6千人）を従業地・通学地別にみると、「自市区町村」が4712万3千人（総人口の37.4%）、「他市区町村」が3305万1千人（26.2%）、「従業も通学もしていない」が4597万2千人（36.4%）となっている。

総人口に占める割合を2015年と比べると、「自市区町村」が0.5ポイントの上昇、「他市区町村」が0.7ポイントの上昇となり、従業又は通学をする者の割合は上昇となっている。一方、「従業も通学もしていない」は1.2ポイントの低下となっている。

（表I-1-1、図I-1-1）

図I-1-1 従業地・通学地別人口の割合ー全国（2015年～2020年）



注) 不詳補完値による。

表I-1-1 従業地・通学地別人口ー全国（2015年～2020年）

従業地・通学地	実 数 (人)		増減数 (人)	割 合 (%)		ポイント差
	2015年 (平成27年)	2020年 (令和2年)		2015年 (平成27年)	2020年 (令和2年)	
総数	127,094,745	126,146,099	-948,646	100.0	100.0	0.0
従業も通学もしていない 1)	47,812,586	45,971,683	-1,840,903	37.6	36.4	-1.2
自市区町村	46,853,438	47,123,163	269,725	36.9	37.4	0.5
自宅	6,420,597	6,577,533	156,936	5.1	5.2	0.2
自宅外	40,432,841	40,545,630	112,789	31.8	32.1	0.3
他市区町村	32,428,721	33,051,253	622,532	25.5	26.2	0.7
県内	25,709,821	26,470,349	760,528	20.2	21.0	0.8
他県	6,718,900	6,580,904	-137,996	5.3	5.2	-0.1
うち就業者	63,409,191	64,995,224	1,586,033	100.0	100.0	0.0
自市区町村	35,010,736	35,686,132	675,396	55.2	54.9	-0.3
自宅	6,420,597	6,577,533	156,936	10.1	10.1	-0.0
自宅外	28,590,139	29,108,599	518,460	45.1	44.8	-0.3
他市区町村	28,398,455	29,309,092	910,637	44.8	45.1	0.3
県内	22,575,091	23,493,685	918,594	35.6	36.1	0.5
他県	5,823,364	5,815,407	-7,957	9.2	8.9	-0.2

注) 不詳補完値による。

1) 労働力状態「完全失業者」、「家事」及び「その他」

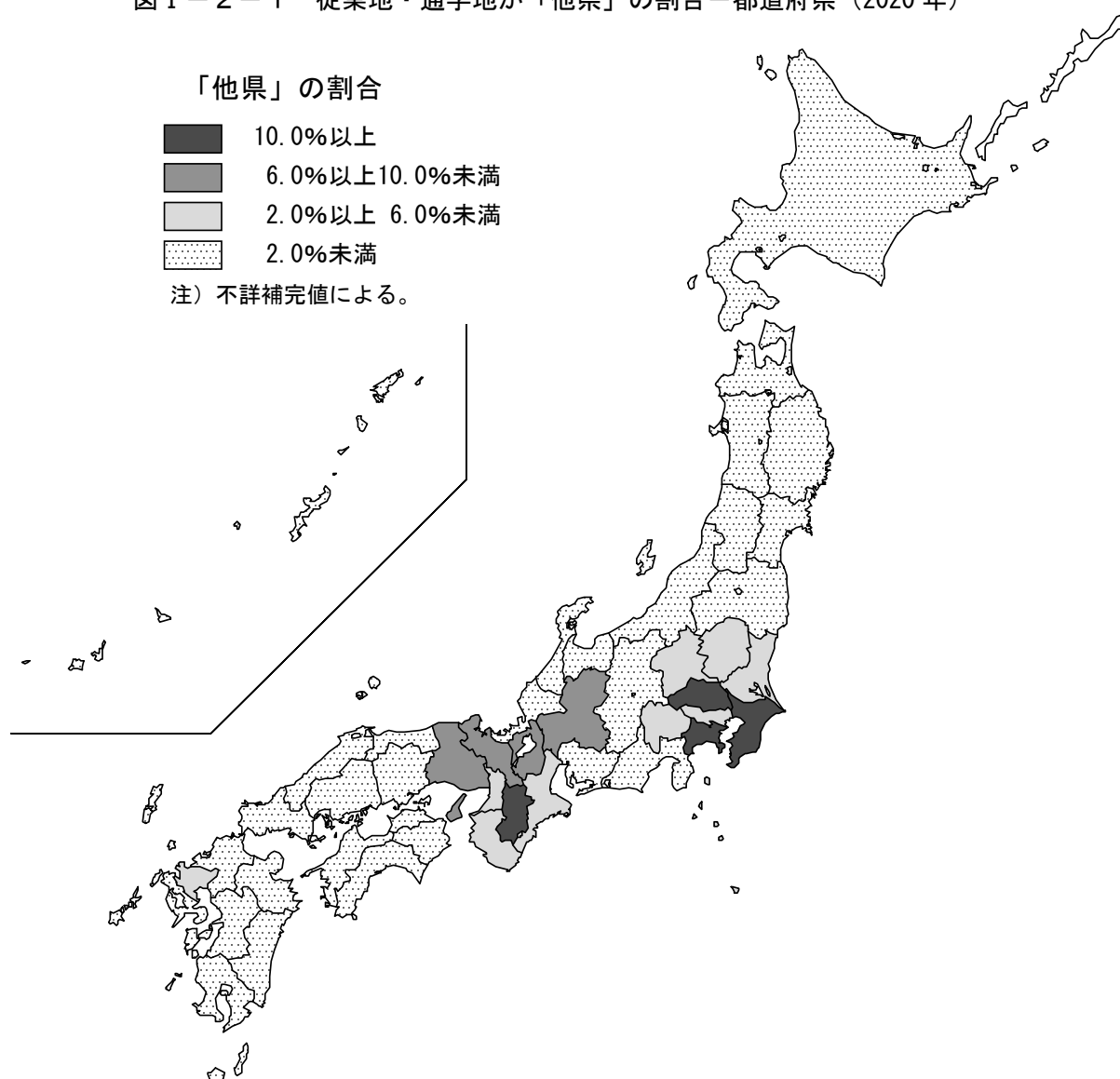
2 都道府県別の従業地・通学地別人口

埼玉県、千葉県、奈良県及び神奈川県は、「他県」に通勤又は通学している者が人口の1割を上回っている

都道府県別人口に占める従業地・通学地別の割合について、「他市区町村」をみると、「他県」は埼玉県が16.8%と最も高く、次いで千葉県(15.4%)、奈良県(14.7%)、神奈川県(14.5%)となっており、4県が1割を上回っている。また、「県内」は東京都が33.6%と最も高く、次いで大阪府(29.5%)、愛知県(28.5%)などとなっている。「他県」及び「県内」を合わせた「他市区町村」は、東京都が38.3%と最も高く、次いで神奈川県(35.9%)、埼玉県(35.3%)などとなっている。

一方、「自市区町村」は島根県が55.8%と最も高く、次いで鹿児島県(53.3%)、宮崎県(53.3%)などとなっている。(表I-2-1、図I-2-1)

図I-2-1 従業地・通学地が「他県」の割合—都道府県(2020年)



表Ⅰ－２－１ 従業地・通学地別人口－都道府県（2020年）

都道府県	実 数（人）								割 合（％）							
	総数	従業員も通学もしていない	自市区町村		他市区町村			総数	従業員も通学もしていない	自市区町村		他市区町村				
			自宅	自宅外		県内	他県			自宅	自宅外	県内	他県			
		1)							1)							
全 国	126,146,099	45,971,683	47,123,163	6,577,533	40,545,630	33,051,253	26,470,349	6,580,904	100.0	36.4	37.4	5.2	32.1	26.2	21.0	5.2
北海道	5,224,614	2,067,464	2,264,804	272,914	1,991,890	892,346	886,661	5,685	100.0	39.6	43.3	5.2	38.1	17.1	17.0	0.1
青森県	1,237,984	476,380	618,010	93,220	524,790	143,594	136,007	7,587	100.0	38.5	49.9	7.5	42.4	11.6	11.0	0.6
岩手県	1,210,534	444,707	601,433	82,971	518,462	164,394	151,292	13,102	100.0	36.7	49.7	6.9	42.8	13.6	12.5	1.1
宮城県	2,301,996	831,388	879,680	112,126	767,554	590,928	567,496	23,432	100.0	36.1	38.2	4.9	33.3	25.7	24.7	1.0
秋田県	959,502	382,772	485,926	66,382	419,544	90,804	86,036	4,768	100.0	39.9	50.6	6.9	43.7	9.5	9.0	0.5
山形県	1,068,027	384,982	507,952	82,540	425,412	175,093	166,200	8,893	100.0	36.0	47.6	7.7	39.8	16.4	15.6	0.8
福島県	1,833,152	682,996	906,816	114,510	792,306	243,340	223,363	19,977	100.0	37.3	49.5	6.2	43.2	13.3	12.2	1.1
茨城県	2,867,009	1,043,636	1,114,623	169,394	945,229	708,750	540,285	168,465	100.0	36.4	38.9	5.9	33.0	24.7	18.8	5.9
栃木県	1,933,146	693,065	845,468	117,104	728,364	394,613	310,967	83,646	100.0	35.9	43.7	6.1	37.7	20.4	16.1	4.3
群馬県	1,939,110	690,743	823,278	110,988	712,290	425,089	355,671	69,418	100.0	35.6	42.5	5.7	36.7	21.9	18.3	3.6
埼玉県	7,344,765	2,634,283	2,117,637	340,133	1,777,504	2,592,845	1,359,479	1,233,366	100.0	35.9	28.8	4.6	24.2	35.3	18.5	16.8
千葉県	6,284,480	2,284,431	1,907,138	296,635	1,610,503	2,092,911	1,125,039	967,872	100.0	36.4	30.3	4.7	25.6	33.3	17.9	15.4
東京都	14,047,594	4,708,309	3,958,357	885,865	3,072,492	5,380,928	4,721,840	659,088	100.0	33.5	28.2	6.3	21.9	38.3	33.6	4.7
神奈川県	9,237,337	3,304,271	2,615,057	421,216	2,193,841	3,318,009	1,981,197	1,336,812	100.0	35.8	28.3	4.6	23.7	35.9	21.4	14.5
新潟県	2,201,272	812,071	1,014,568	124,405	890,163	374,633	367,534	7,099	100.0	36.9	46.1	5.7	40.4	17.0	16.7	0.3
富山県	1,034,814	364,970	487,927	49,593	438,334	181,917	171,433	10,484	100.0	35.3	47.2	4.8	42.4	17.6	16.6	1.0
石川県	1,132,526	387,336	540,639	57,810	482,829	204,551	193,555	10,996	100.0	34.2	47.7	5.1	42.6	18.1	17.1	1.0
福井県	766,863	256,259	374,440	43,105	331,335	136,164	128,979	7,185	100.0	33.4	48.8	5.6	43.2	17.8	16.8	0.9
山梨県	809,974	281,943	322,160	62,091	260,069	205,871	188,208	17,663	100.0	34.8	39.8	7.7	32.1	25.4	23.2	2.2
長野県	2,048,011	710,897	983,517	153,210	830,307	353,597	337,862	15,735	100.0	34.7	48.0	7.5	40.5	17.3	16.5	0.8
岐阜県	1,978,742	696,796	801,744	109,643	692,101	480,202	349,441	130,761	100.0	35.2	40.5	5.5	35.0	24.3	17.7	6.6
静岡県	3,633,202	1,289,349	1,550,337	199,412	1,350,925	793,516	748,986	44,530	100.0	35.5	42.7	5.5	37.2	21.8	20.6	1.2
愛知県	7,542,415	2,565,900	2,728,433	340,860	2,387,573	2,248,082	2,146,772	101,310	100.0	34.0	36.2	4.5	31.7	29.8	28.5	1.3
三重県	1,770,254	637,185	799,058	83,016	716,042	334,011	270,551	63,460	100.0	36.0	45.1	4.7	40.4	18.9	15.3	3.6
滋賀県	1,413,610	488,871	560,963	60,400	500,563	363,776	263,324	100,452	100.0	34.6	39.7	4.3	35.4	25.7	18.6	7.1
京都府	2,578,087	966,704	865,024	136,021	729,003	746,359	568,958	177,401	100.0	37.5	33.6	5.3	28.3	29.0	22.1	6.9
大阪府	8,837,685	3,401,260	2,502,011	336,344	2,165,667	2,934,414	2,607,839	326,575	100.0	38.5	28.3	3.8	24.5	33.2	29.5	3.7
兵庫県	5,465,002	2,105,676	1,878,279	211,604	1,666,675	1,481,047	1,059,243	421,804	100.0	38.5	34.4	3.9	30.5	27.1	19.4	7.7
奈良県	1,324,473	534,838	378,752	59,562	319,190	410,883	215,560	195,323	100.0	40.4	28.6	4.5	24.1	31.0	16.3	14.7
和歌山県	922,584	361,751	408,817	66,477	342,340	152,016	115,378	36,638	100.0	39.2	44.3	7.2	37.1	16.5	12.5	4.0
鳥取県	553,407	200,621	277,187	33,015	244,172	75,599	65,459	10,140	100.0	36.3	50.1	6.0	44.1	13.7	11.8	1.8
島根県	671,126	243,667	374,321	38,551	335,770	53,138	43,872	9,266	100.0	36.3	55.8	5.7	50.0	7.9	6.5	1.4
岡山県	1,888,432	699,269	831,701	94,016	737,685	357,462	331,814	25,648	100.0	37.0	44.0	5.0	39.1	18.9	17.6	1.4
広島県	2,799,702	1,018,765	1,214,445	119,932	1,094,513	566,492	536,956	29,536	100.0	36.4	43.4	4.3	39.1	20.2	19.2	1.1
山口県	1,342,059	533,943	652,546	58,451	594,095	155,570	133,813	21,757	100.0	39.8	48.6	4.4	44.3	11.6	10.0	1.6
徳島県	719,559	284,540	300,093	49,912	250,181	134,926	127,385	7,541	100.0	39.5	41.7	6.9	34.8	18.8	17.7	1.0
香川県	950,244	356,930	435,091	50,703	384,388	158,223	148,206	10,017	100.0	37.6	45.8	5.3	40.5	16.7	15.6	1.1
愛媛県	1,334,841	523,727	695,127	81,961	613,166	115,987	108,105	7,882	100.0	39.2	52.1	6.1	45.9	8.7	8.1	0.6
高知県	691,527	274,293	323,716	46,847	276,869	93,518	90,122	3,396	100.0	39.7	46.8	6.8	40.0	13.5	13.0	0.5
福岡県	5,135,214	1,911,188	1,834,201	223,720	1,610,481	1,389,825	1,313,910	75,915	100.0	37.2	35.7	4.4	31.4	27.1	25.6	1.5
佐賀県	811,442	286,881	366,708	54,222	312,486	157,853	116,298	41,555	100.0	35.4	45.2	6.7	38.5	19.5	14.3	5.1
長崎県	1,312,317	509,988	668,655	73,411	595,244	133,674	121,510	12,164	100.0	38.9	51.0	5.6	45.4	10.2	9.3	0.9
熊本県	1,738,301	645,658	711,591	118,260	593,331	381,052	358,683	22,369	100.0	37.1	40.9	6.8	34.1	21.9	20.6	1.3
大分県	1,123,852	437,884	582,401	59,151	523,250	103,567	90,734	12,833	100.0	39.0	51.8	5.3	46.6	9.2	8.1	1.1
宮崎県	1,069,576	405,610	569,861	70,970	498,891	94,105	85,178	8,927	100.0	37.9	53.3	6.6	46.6	8.8	8.0	0.8
鹿児島県	1,588,256	608,474	846,997	91,182	755,815	132,785	122,444	10,341	100.0	38.3	53.3	5.7	47.6	8.4	7.7	0.7
沖縄県	1,467,480	539,012	595,674	53,678	541,996	332,794	330,704	2,090	100.0	36.7	40.6	3.7	36.9	22.7	22.5	0.1

注）不詳補完値による。

1) 労働力状態「完全失業者」、「家事」及び「その他」

Ⅱ 昼夜間人口比率

1 都道府県別昼夜間人口比率

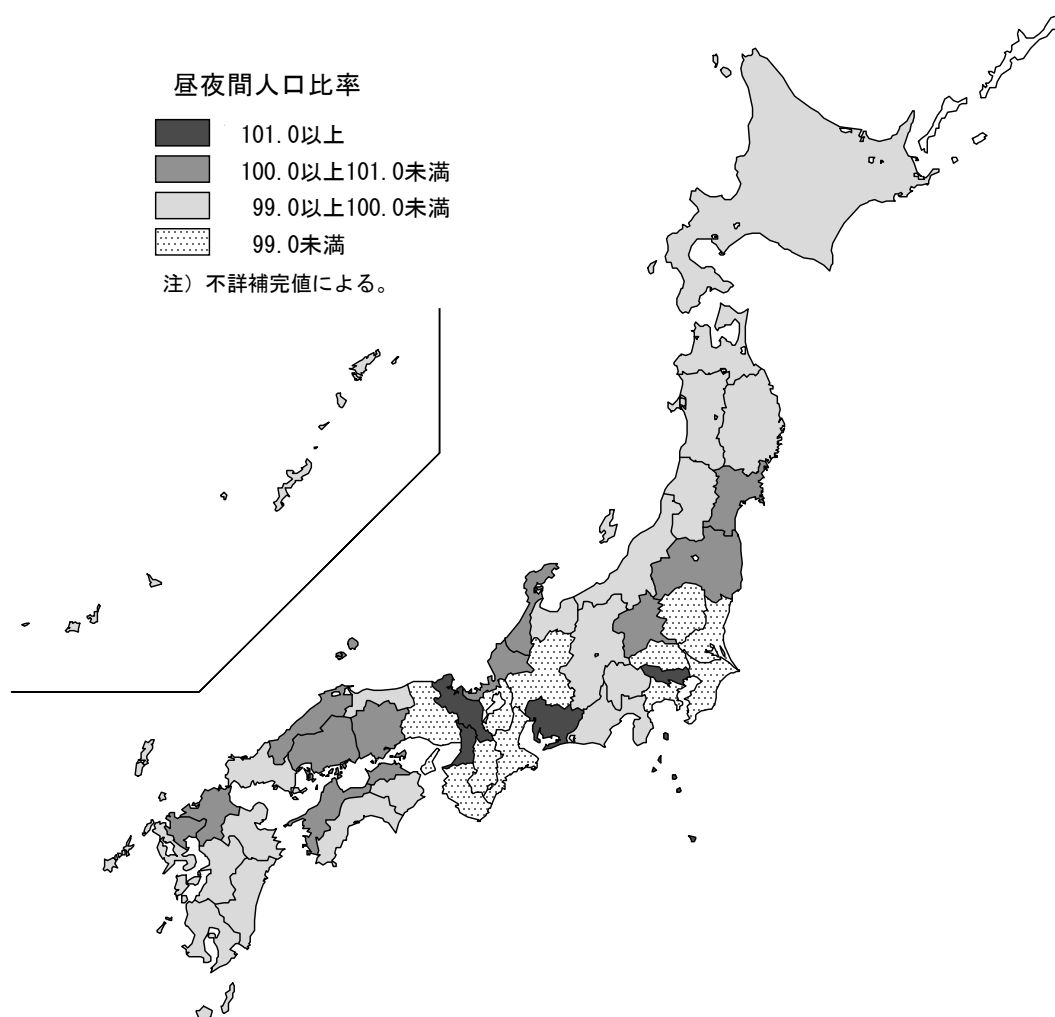
昼夜間人口比率は、東京都が119.2と最も高く、埼玉県が87.6と最も低い

昼間人口を都道府県別にみると、東京都が1675万2千人と最も多く、次いで大阪府（922万8千人）、神奈川県（830万6千人）などとなっている。

昼夜間人口比率をみると、東京都が119.2と最も高く、次いで大阪府（104.4）、京都府（102.0）などとなっており、16都府県で昼間人口が夜間人口を上回っている。一方、埼玉県が87.6と最も低く、次いで千葉県（88.3）、神奈川県（89.9）などとなっている。

昼夜間人口比率を2015年と比べると、30都府県で上昇、17都府県で低下となっている。最も上昇したのは奈良県で0.5ポイントの上昇、最も低下したのは東京都で0.9ポイントの低下となっている。（表Ⅱ－１－１、図Ⅱ－１－１）

図Ⅱ－１－１ 昼夜間人口比率－都道府県（2020年）



表Ⅱ－１－１ 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率－都道府県（2015年～2020年）

都道府県	昼間人口（人）		夜間人口（人）		昼夜間人口比率				ポイント差 2015年 ～2020年
	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	2015年 （平成27年）	順位	2020年 （令和2年）	順位	
全 国	127,094,745	126,146,099	127,094,745	126,146,099	100.0	—	100.0	—	0.0
北海道	5,378,574	5,223,011	5,381,733	5,224,614	99.9	16	100.0	17	0.0
青森県	1,306,221	1,236,694	1,308,265	1,237,984	99.8	25	99.9	23	0.1
岩手県	1,277,109	1,208,267	1,279,594	1,210,534	99.8	27	99.8	28	0.0
宮城県	2,340,238	2,303,524	2,333,899	2,301,996	100.3	6	100.1	14	-0.2
秋田県	1,020,663	957,802	1,023,119	959,502	99.8	31	99.8	26	0.1
山形県	1,120,463	1,065,256	1,123,891	1,068,027	99.7	32	99.7	30	0.0
福島県	1,918,157	1,834,783	1,914,039	1,833,152	100.2	8	100.1	12	-0.1
茨城県	2,841,612	2,798,933	2,916,976	2,867,009	97.4	40	97.6	40	0.2
栃木県	1,954,842	1,913,612	1,974,255	1,933,146	99.0	37	99.0	37	-0.0
群馬県	1,971,205	1,939,475	1,973,115	1,939,110	99.9	21	100.0	16	0.1
埼玉県	6,352,309	6,434,818	7,266,534	7,344,765	87.4	47	87.6	47	0.2
千葉県	5,486,015	5,549,636	6,222,666	6,284,480	88.2	46	88.3	46	0.1
東京都	16,243,403	16,751,563	13,515,271	14,047,594	120.2	1	119.2	1	-0.9
神奈川県	8,196,565	8,305,714	9,126,214	9,237,337	89.8	44	89.9	45	0.1
新潟県	2,302,596	2,200,535	2,304,264	2,201,272	99.9	19	100.0	18	0.0
富山県	1,064,187	1,032,879	1,066,328	1,034,814	99.8	28	99.8	27	0.0
石川県	1,156,324	1,134,490	1,154,008	1,132,526	100.2	10	100.2	7	-0.0
福井県	786,997	768,409	786,740	766,863	100.0	14	100.2	6	0.2
山梨県	829,417	804,590	834,930	809,974	99.3	36	99.3	36	-0.0
長野県	2,094,478	2,042,473	2,098,804	2,048,011	99.8	29	99.7	31	-0.1
岐阜県	1,950,497	1,906,495	2,031,903	1,978,742	96.0	42	96.3	42	0.4
静岡県	3,693,931	3,627,009	3,700,305	3,633,202	99.8	26	99.8	25	0.0
愛知県	7,590,559	7,637,684	7,483,128	7,542,415	101.4	4	101.3	4	-0.2
三重県	1,783,804	1,742,174	1,815,865	1,770,254	98.2	38	98.4	38	0.2
滋賀県	1,363,816	1,366,079	1,412,916	1,413,610	96.5	41	96.6	41	0.1
京都府	2,659,386	2,629,414	2,610,353	2,578,087	101.9	3	102.0	3	0.1
大阪府	9,245,167	9,227,865	8,839,469	8,837,685	104.6	2	104.4	2	-0.2
兵庫県	5,272,203	5,209,889	5,534,800	5,465,002	95.3	43	95.3	43	0.1
奈良県	1,224,103	1,195,079	1,364,316	1,324,473	89.7	45	90.2	44	0.5
和歌山県	946,239	907,795	963,579	922,584	98.2	39	98.4	39	0.2
鳥取県	572,563	552,250	573,441	553,407	99.8	24	99.8	29	-0.1
島根県	694,964	672,099	694,352	671,126	100.1	11	100.1	9	0.1
岡山県	1,922,577	1,890,186	1,921,525	1,888,432	100.1	12	100.1	11	0.0
広島県	2,850,046	2,803,893	2,843,990	2,799,702	100.2	9	100.1	8	-0.1
山口県	1,399,191	1,337,227	1,404,729	1,342,059	99.6	34	99.6	34	0.0
徳島県	752,867	716,553	755,733	719,559	99.6	33	99.6	35	-0.0
香川県	978,862	951,414	976,263	950,244	100.3	7	100.1	10	-0.1
愛媛県	1,385,333	1,335,909	1,385,262	1,334,841	100.0	15	100.1	13	0.1
高知県	727,443	690,651	728,276	691,527	99.9	23	99.9	24	-0.0
福岡県	5,103,248	5,136,448	5,101,556	5,135,214	100.0	13	100.0	15	-0.0
佐賀県	836,717	817,005	832,832	811,442	100.5	5	100.7	5	0.2
長崎県	1,374,174	1,308,735	1,377,187	1,312,317	99.8	30	99.7	32	-0.1
熊本県	1,777,601	1,732,343	1,786,170	1,738,301	99.5	35	99.7	33	0.1
大分県	1,165,478	1,123,167	1,166,338	1,123,852	99.9	20	99.9	20	0.0
宮崎県	1,103,353	1,068,556	1,104,069	1,069,576	99.9	18	99.9	22	-0.0
鹿児島県	1,646,565	1,586,860	1,648,177	1,588,256	99.9	22	99.9	21	0.0
沖縄県	1,432,683	1,466,856	1,433,566	1,467,480	99.9	17	100.0	19	0.0

注）不詳補完値による。

2 政令指定都市及び東京都特別区部別昼夜間人口比率

昼夜間人口比率は、大阪府大阪市が132.5と最も高い

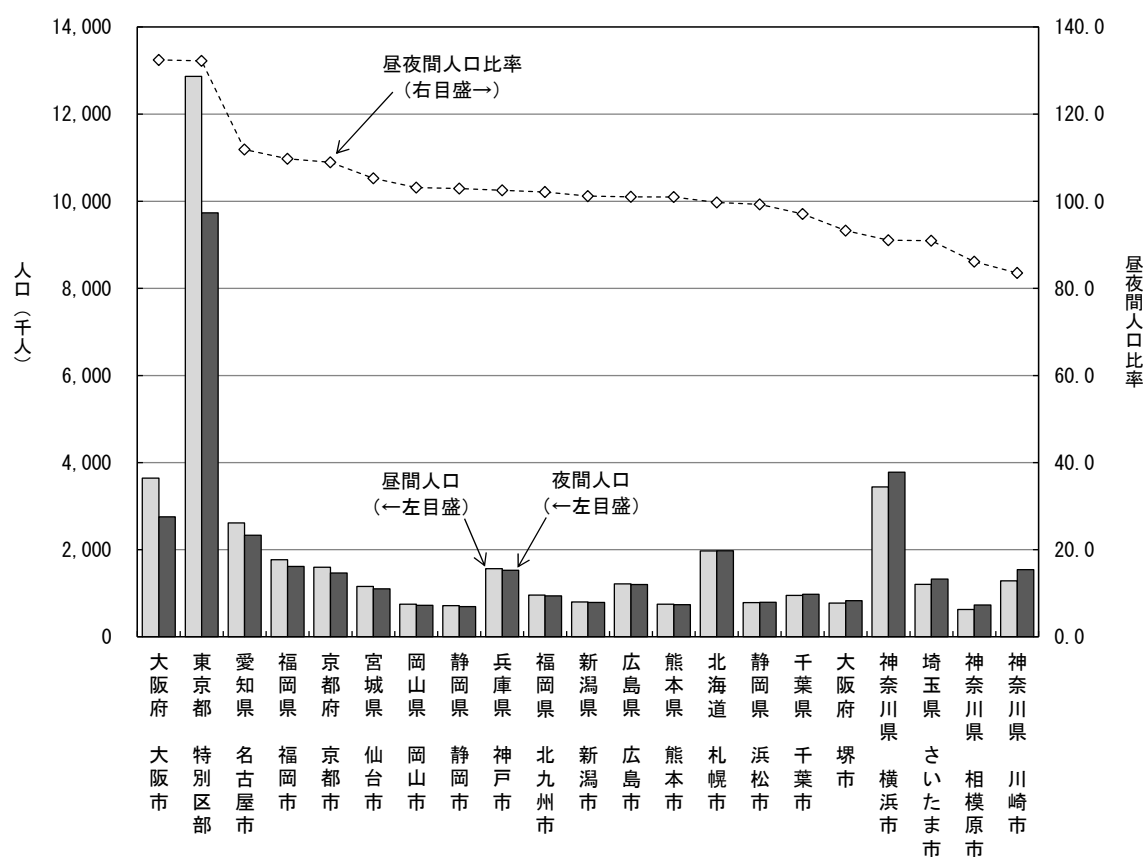
昼間人口を政令指定都市及び東京都特別区部別にみると、東京都特別区部が1287万人と最も多く、次いで大阪府大阪市（364万6千人）、神奈川県横浜市（344万人）などとなっている。

昼夜間人口比率をみると、大阪府大阪市が132.5と最も高く、次いで東京都特別区部（132.2）、愛知県名古屋市（111.9）などとなっており、12市及び東京都特別区部で昼間人口が夜間人口を上回っている。一方、神奈川県川崎市が83.6と最も低く、次いで神奈川県相模原市（86.2）、埼玉県さいたま市（90.9）などとなっている。

昼夜間人口比率を2015年と比べると、3市で上昇、17市及び東京都特別区部で低下となっている。最も上昇したのは神奈川県横浜市で0.6ポイントの上昇、最も低下したのは東京都特別区部で1.7ポイントの低下となっている。

（表Ⅱ－２－１、図Ⅱ－２－１）

図Ⅱ－２－１ 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率
－政令指定都市及び東京都特別区部（2020年）



注) 不詳補完値による。

表Ⅱ－２－１ 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率
－政令指定都市及び東京都特別区部（2015年～2020年）

順位 ¹⁾	政令指定都市 ・ 東京都特別区部	昼間人口（人）		夜間人口（人）		昼夜間人口比率		ポイント差 2015年 ～2020年
		2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	
1 (2)	大阪府 大阪市	3,604,478	3,645,921	2,691,185	2,752,412	133.9	132.5	-1.5
2 (1)	東京都 特別区部	12,422,921	12,870,173	9,272,740	9,733,276	134.0	132.2	-1.7
3 (3)	愛知県 名古屋市	2,594,841	2,609,745	2,295,638	2,332,176	113.0	111.9	-1.1
4 (4)	福岡県 福岡市	1,705,028	1,769,643	1,538,681	1,612,392	110.8	109.8	-1.1
5 (5)	京都府 京都市	1,610,077	1,594,930	1,475,183	1,463,723	109.1	109.0	-0.2
6 (6)	宮城県 仙台市	1,147,592	1,154,586	1,082,159	1,096,704	106.0	105.3	-0.8
7 (7)	岡山県 岡山市	746,795	747,281	719,474	724,691	103.8	103.1	-0.7
8 (8)	静岡県 静岡市	726,526	713,745	704,989	693,389	103.1	102.9	-0.1
9 (9)	兵庫県 神戸市	1,576,599	1,564,007	1,537,272	1,525,152	102.6	102.5	-0.0
10 (10)	福岡県 北九州市	984,519	959,146	961,286	939,029	102.4	102.1	-0.3
11 (12)	新潟県 新潟市	821,867	798,479	810,157	789,275	101.4	101.2	-0.3
12 (13)	広島県 広島市	1,210,470	1,213,104	1,194,034	1,200,754	101.4	101.0	-0.3
13 (11)	熊本県 熊本市	753,492	746,115	740,822	738,865	101.7	101.0	-0.7
14 (14)	北海道 札幌市	1,952,057	1,968,338	1,952,356	1,973,395	100.0	99.7	-0.2
15 (15)	静岡県 浜松市	792,567	784,884	797,980	790,718	99.3	99.3	-0.1
16 (16)	千葉県 千葉市	944,023	946,610	971,882	974,951	97.1	97.1	-0.0
17 (17)	大阪府 堺市	782,117	770,547	839,310	826,161	93.2	93.3	0.1
18 (19)	神奈川県 横浜市	3,369,948	3,440,070	3,724,844	3,777,491	90.5	91.1	0.6
19 (18)	埼玉県 さいたま市	1,155,613	1,204,080	1,263,979	1,324,025	91.4	90.9	-0.5
20 (20)	神奈川県 相模原市	619,393	625,027	720,780	725,493	85.9	86.2	0.2
21 (21)	神奈川県 川崎市	1,252,752	1,285,285	1,475,213	1,538,262	84.9	83.6	-1.4

注）不詳補完値による。

1) 2020年の昼夜間人口比率による。なお、（ ）は、2015年の昼夜間人口比率による。

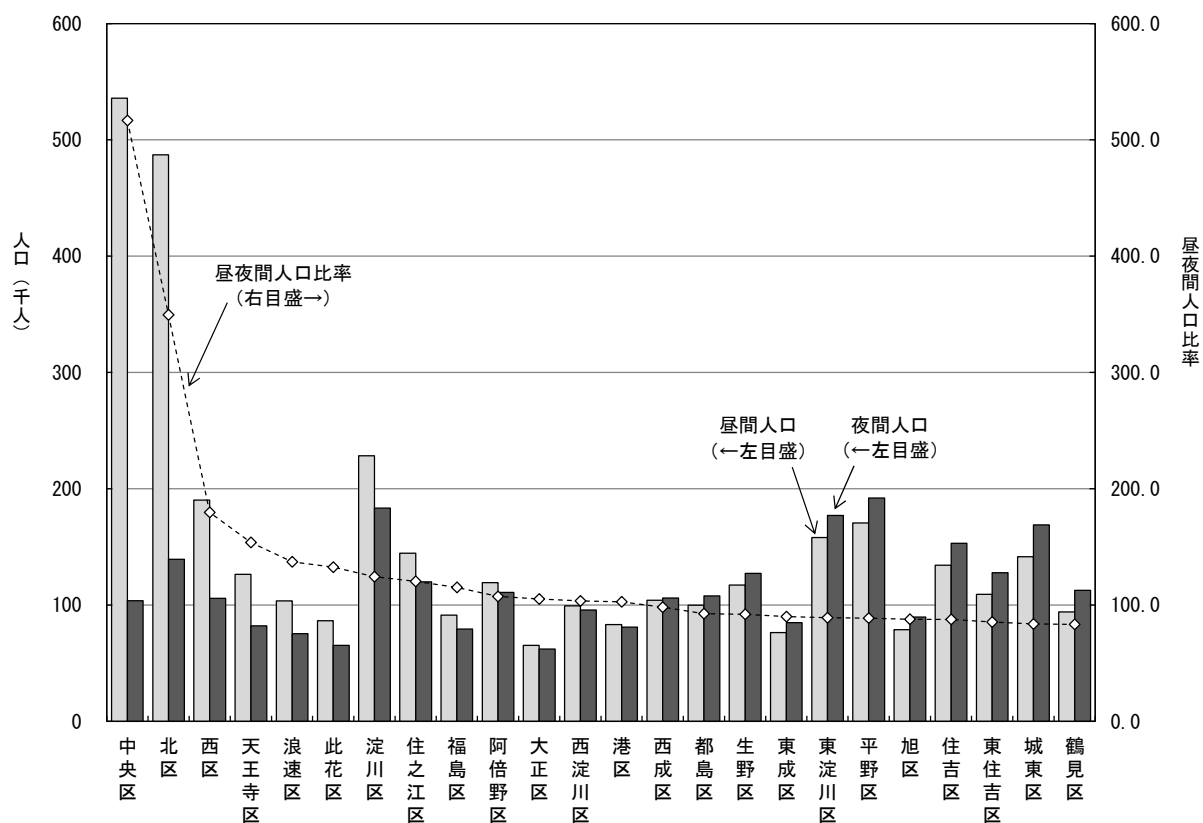
大阪府大阪市の昼夜間人口比率は、中央区が516.6と最も高く、鶴見区が83.5と最も低い

大阪府大阪市の昼間人口を区別にみると、中央区が53万6千人と最も多く、次いで北区（48万7千人）、淀川区（22万8千人）などとなっている。

昼夜間人口比率をみると、中央区が516.6と最も高く、次いで北区（349.5）、西区（179.7）などとなっており、13区で昼間人口が夜間人口を上回っている。一方、鶴見区が83.5と最も低く、次いで城東区（83.8）、東住吉区（85.5）などとなっている。

昼夜間人口比率を2015年と比べると、4区で上昇、20区で低下となっている。最も上昇したのは此花区で5.8ポイントの上昇、最も低下したのは中央区で41.8ポイントの低下となっている。（表Ⅱ－２－２、図Ⅱ－２－２）

図Ⅱ－２－２ 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率—大阪府大阪市（2020年）



注）不詳補完値による。

表Ⅱ－２－２ 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率－大阪府大阪市（2015 年～2020 年）

順位 ¹⁾	区	昼間人口（人）		夜間人口（人）		昼夜間人口比率		ポイント差
		2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	
	大 阪 市	3,604,478	3,645,921	2,691,185	2,752,412	133.9	132.5	-1.5
1 (1)	中 央 区	519,650	535,834	93,069	103,726	558.3	516.6	-41.8
2 (2)	北 区	458,394	487,123	123,667	139,376	370.7	349.5	-21.2
3 (3)	西 区	184,949	190,260	92,430	105,862	200.1	179.7	-20.4
4 (4)	天 王 寺 区	124,897	126,423	75,729	82,148	164.9	153.9	-11.0
5 (5)	浪 速 区	101,321	103,633	69,766	75,504	145.2	137.3	-8.0
6 (7)	此 花 区	84,506	86,518	66,656	65,251	126.8	132.6	5.8
7 (6)	淀 川 区	226,198	228,358	176,201	183,444	128.4	124.5	-3.9
8 (9)	住 之 江 区	142,755	144,533	122,988	120,072	116.1	120.4	4.3
9 (8)	福 島 区	89,759	91,393	72,484	79,328	123.8	115.2	-8.6
10 (10)	阿 倍 野 区	119,781	119,223	107,626	110,995	111.3	107.4	-3.9
11 (13)	大 正 区	67,585	65,287	65,141	62,083	103.8	105.2	1.4
12 (11)	西 淀 川 区	99,361	99,274	95,490	95,864	104.1	103.6	-0.5
13 (12)	港 区	85,130	83,295	82,035	80,948	103.8	102.9	-0.9
14 (14)	西 成 区	110,345	104,163	111,883	106,111	98.6	98.2	-0.5
15 (17)	都 島 区	96,730	99,917	104,727	107,904	92.4	92.6	0.2
16 (16)	生 野 区	121,942	117,253	130,167	127,309	93.7	92.1	-1.6
17 (15)	東 成 区	77,001	76,482	80,563	84,906	95.6	90.1	-5.5
18 (18)	東 淀 川 区	158,764	158,036	175,530	177,120	90.4	89.2	-1.2
19 (20)	平 野 区	174,710	170,668	196,633	192,152	88.9	88.8	-0.0
20 (19)	旭 区	82,066	78,842	91,608	89,670	89.6	87.9	-1.7
21 (21)	住 吉 区	136,060	134,308	154,239	153,056	88.2	87.8	-0.5
22 (22)	東 住 吉 区	109,303	109,278	126,299	127,849	86.5	85.5	-1.1
23 (23)	城 東 区	139,137	141,717	164,697	169,043	84.5	83.8	-0.6
24 (24)	鶴 見 区	94,134	94,103	111,557	112,691	84.4	83.5	-0.9

注）不詳補完値による。

1) 2020年の昼夜間人口比率による。なお、（ ）は、2015年の昼夜間人口比率による。

東京都特別区部の昼夜間人口比率は、千代田区が1,753.7と最も高く、練馬区が72.2と最も低い

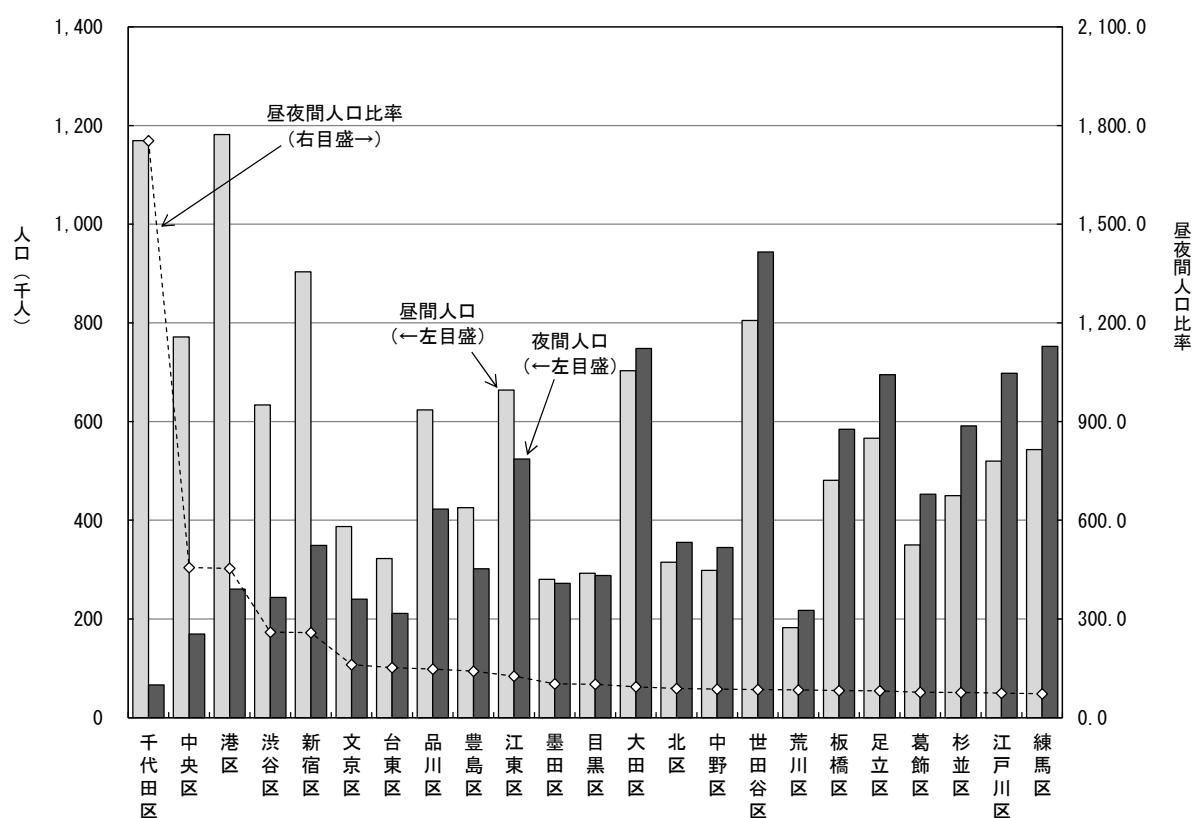
東京都特別区部の昼間人口を区別にみると、港区が118万2千人と最も多く、次いで千代田区（116万9千人）、新宿区（90万3千人）などとなっている。

昼夜間人口比率をみると、千代田区が1,753.7と最も高く、次いで中央区（456.1）、港区（453.7）などとなっており、12区で昼間人口が夜間人口を上回っている。一方、練馬区が72.2と最も低く、次いで江戸川区（74.5）、杉並区（76.1）などとなっている。

昼夜間人口比率を2015年と比べると、全ての区で低下となっている。最も低下したのは千代田区で123.7ポイントの低下となっている。

（表Ⅱ－２－３、図Ⅱ－２－３）

図Ⅱ－２－３ 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率－東京都特別区部（2020年）



注）不詳補完値による。

表Ⅱ－２－３ 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率－東京都特別区部（2015 年～2020 年）

順位 ¹⁾	区	昼間人口（人）		夜間人口（人）		昼夜間人口比率		ポイント差
		2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	
	特別区部	12,422,921	12,870,173	9,272,740	9,733,276	134.0	132.2	-1.7
1 (1)	千代田区	1,096,555	1,169,399	58,406	66,680	1,877.5	1,753.7	-123.7
2 (2)	中央区	735,352	771,583	141,183	169,179	520.9	456.1	-64.8
3 (3)	港区	1,131,660	1,181,809	243,283	260,486	465.2	453.7	-11.5
4 (4)	渋谷区	619,985	633,452	224,533	243,883	276.1	259.7	-16.4
5 (5)	新宿区	873,822	903,456	333,560	349,385	262.0	258.6	-3.4
6 (6)	文京区	377,567	387,128	219,724	240,069	171.8	161.3	-10.6
7 (7)	台東区	315,063	322,438	198,073	211,444	159.1	152.5	-6.6
8 (8)	品川区	575,751	623,482	386,855	422,488	148.8	147.6	-1.3
9 (9)	豊島区	424,546	425,646	291,167	301,599	145.8	141.1	-4.7
10 (10)	江東区	635,428	663,805	498,109	524,310	127.6	126.6	-1.0
11 (11)	墨田区	278,448	280,440	256,274	272,085	108.7	103.1	-5.6
12 (12)	目黒区	283,258	292,724	277,622	288,088	102.0	101.6	-0.4
13 (13)	大田区	678,479	703,426	717,082	748,081	94.6	94.0	-0.6
14 (14)	北区	307,566	315,072	341,076	355,213	90.2	88.7	-1.5
15 (15)	中野区	285,320	298,711	328,215	344,880	86.9	86.6	-0.3
16 (16)	世田谷区	772,500	804,830	903,346	943,664	85.5	85.3	-0.2
17 (17)	荒川区	181,227	182,358	212,264	217,475	85.4	83.9	-1.5
18 (18)	板橋区	472,431	480,957	561,916	584,483	84.1	82.3	-1.8
19 (19)	足立区	554,364	566,277	670,122	695,043	82.7	81.5	-1.3
20 (20)	葛飾区	344,242	349,865	442,913	453,093	77.7	77.2	-0.5
21 (21)	杉並区	435,308	450,008	563,997	591,108	77.2	76.1	-1.1
22 (22)	江戸川区	511,890	519,824	681,298	697,932	75.1	74.5	-0.7
23 (23)	練馬区	532,159	543,483	721,722	752,608	73.7	72.2	-1.5

注）不詳補完値による。

1) 2020年の昼夜間人口比率による。なお、（ ）は、2015年の昼夜間人口比率による。

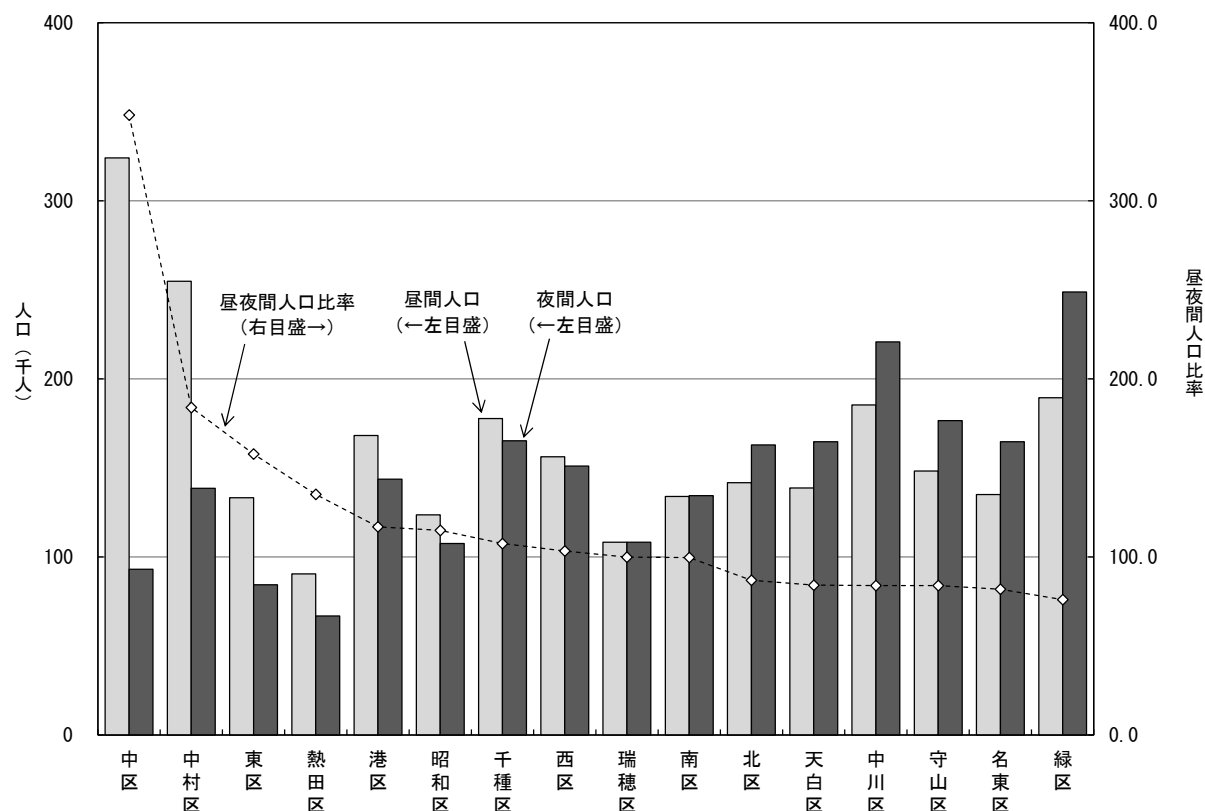
愛知県名古屋市の昼夜間人口比率は、中区が348.2と最も高く、緑区が76.1と最も低い

愛知県名古屋市の昼間人口を区別にみると、中区が32万4千人と最も多く、次いで中村区（25万5千人）、緑区（18万9千人）などとなっている。

昼夜間人口比率をみると、中区が348.2と最も高く、次いで中村区（183.9）、東区（157.9）などとなっており、8区で昼間人口が夜間人口を上回っている。一方、緑区が76.1と最も低く、次いで名東区（82.0）、守山区（84.0）などとなっている。

昼夜間人口比率を2015年と比べると、2区で上昇、14区で低下となっている。最も上昇したのは中村区で5.6ポイントの上昇、最も低下したのは中区で40.8ポイントの低下となっている。（表Ⅱ－2－4、図Ⅱ－2－4）

図Ⅱ－2－4 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率－愛知県名古屋市（2020年）



注) 不詳補完値による。

表Ⅱ－２－４ 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率－愛知県名古屋市（2015年～2020年）

順位 ¹⁾	区	昼間人口（人）		夜間人口（人）		昼夜間人口比率		ポイント差
		2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	
	名古屋市	2,594,841	2,609,745	2,295,638	2,332,176	113.0	111.9	-1.1
1 (1)	中区	323,668	324,156	83,203	93,100	389.0	348.2	-40.8
2 (2)	中村区	237,584	254,921	133,206	138,599	178.4	183.9	5.6
3 (3)	東区	127,091	133,257	78,043	84,392	162.8	157.9	-4.9
4 (4)	熱田区	90,660	90,517	65,895	66,957	137.6	135.2	-2.4
5 (6)	港区	171,291	168,165	146,745	143,715	116.7	117.0	0.3
6 (5)	昭和区	126,694	123,647	107,170	107,599	118.2	114.9	-3.3
7 (7)	千種区	180,117	177,759	164,696	165,245	109.4	107.6	-1.8
8 (8)	西区	155,508	156,256	149,098	151,082	104.3	103.4	-0.9
9 (9)	瑞穂区	108,798	108,215	105,357	108,332	103.3	99.9	-3.4
10 (10)	南区	137,360	134,066	136,935	134,510	100.3	99.7	-0.6
11 (11)	北区	142,941	141,734	163,579	162,956	87.4	87.0	-0.4
12 (12)	天白区	139,996	138,831	162,683	164,817	86.1	84.2	-1.8
13 (13)	中川区	187,713	185,422	220,281	220,728	85.2	84.0	-1.2
14 (14)	守山区	145,634	148,291	172,845	176,587	84.3	84.0	-0.3
15 (15)	名東区	134,514	135,049	164,080	164,755	82.0	82.0	-0.0
16 (16)	緑区	185,272	189,459	241,822	248,802	76.6	76.1	-0.5

注）不詳補完値による。

1) 2020年の昼夜間人口比率による。なお、（ ）は、2015年の昼夜間人口比率による。

3 市区町村別昼夜間人口比率

昼夜間人口比率は、東京都千代田区が1,753.7と最も高く、宮城県七ヶ浜町が66.2と最も低い

昼夜間人口比率を市区町村別にみると、東京都千代田区が1,753.7と最も高く、次いで福島県大熊町（688.0）、大阪府大阪市中央区（516.6）などとなっている。

一方、宮城県七ヶ浜町が66.2と最も低く、次いで東京都狛江市（67.7）、神奈川県川崎市宮前区（68.2）などとなっている。（表Ⅱ－3－1）

表Ⅱ－3－1 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率－上位20市区町村（2020年）

昼夜間人口比率の高い市区町村					昼夜間人口比率の低い市区町村				
順位	市区町村	昼間人口 (人)	夜間人口 (人)	昼夜間 人口比率	順位	市区町村	昼間人口 (人)	夜間人口 (人)	昼夜間 人口比率
1	東京都 千代田区	1,169,399	66,680	1,753.7	1	宮城県 七ヶ浜町	12,006	18,132	66.2
2	福島県 大熊町	5,827	847	688.0	2	東京都 狛江市	57,407	84,772	67.7
3	大阪府 大阪市中央区	535,834	103,726	516.6	3	神奈川県 川崎市宮前区	159,518	233,728	68.2
4	東京都 中央区	771,583	169,179	456.1	4	埼玉県 富士見市	77,112	111,859	68.9
5	東京都 港区	1,181,809	260,486	453.7	5	愛知県 大治町	22,662	32,399	69.9
6	大阪府 大阪市北区	487,123	139,376	349.5	6	埼玉県 さいたま市南区	135,030	191,563	70.5
7	愛知県 名古屋市中区	324,156	93,100	348.2	7	富山県 舟橋村	2,240	3,132	71.5
8	愛知県 飛島村	14,731	4,575	322.0	8	神奈川県 川崎市多摩区	159,672	221,734	72.0
9	東京都 渋谷区	633,452	243,883	259.7	9	東京都 練馬区	543,483	752,608	72.2
10	東京都 新宿区	903,456	349,385	258.6	10	大阪府 豊能町	13,246	18,279	72.5
11	栃木県 芳賀町	33,758	14,961	225.6	11	山形県 中山町	7,842	10,746	73.0
12	福島県 浪江町	4,221	1,923	219.5	12	和歌山県 日高町	5,603	7,673	73.0
13	福島県 富岡町	4,668	2,128	219.4	13	千葉県 大網白里市	35,164	48,129	73.1
14	神奈川県 横浜西区	220,817	104,935	210.4	14	山形県 山辺町	10,063	13,725	73.3
15	兵庫県 神戸市中央区	308,475	147,518	209.1	15	石川県 内灘町	19,515	26,574	73.4
16	京都府 久御山町	31,499	15,250	206.6	16	神奈川県 横浜市南区	146,538	198,157	74.0
17	福島県 葛尾村	863	420	205.5	17	茨城県 利根町	11,402	15,340	74.3
18	宮城県 大衡村	11,267	5,849	192.6	18	神奈川県 二宮町	20,493	27,564	74.3
19	愛知県 名古屋市中村区	254,921	138,599	183.9	19	東京都 江戸川区	519,824	697,932	74.5
20	福島県 飯舘村	2,370	1,318	179.8	20	奈良県 平群町	13,448	18,009	74.7

注）不詳補完値による。また、夜間人口が0人であった福島県双葉町は含まない。

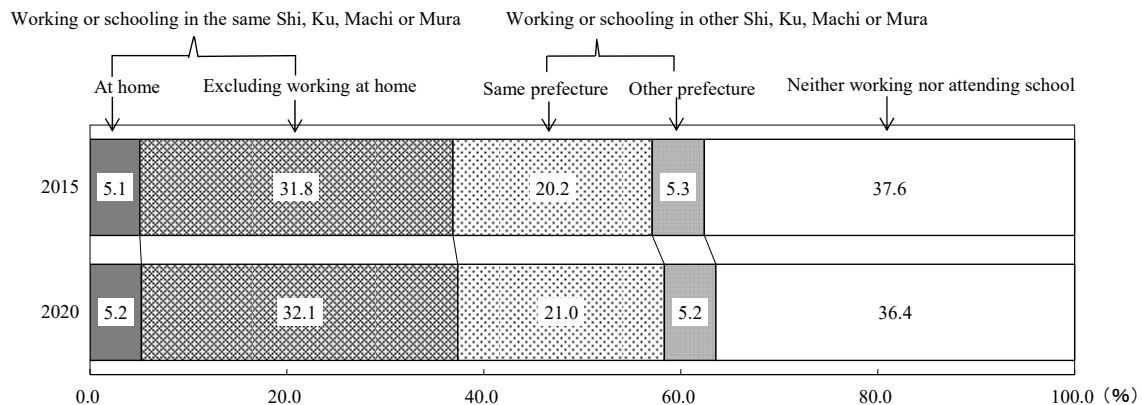
Summary of the Results (Tabulation on Place of Work or Schooling for Population and Labour Force)

Population by Place of Work or School

The percentages of those going to work or school increased.

- Examining the percentages of those working or schooling to the total population, we find that “Working or schooling in the same Shi, Ku, Machi or Mura” accounted for 37.4%, “Working or schooling in other Shi, Ku, Machi or Mura” accounted for 26.2%, and those who “Neither working nor attending school” accounted for 36.4%.
- From 2015, “Working or schooling in the same Shi, Ku, Machi or Mura” increased by 0.5 percentage points, “Working or schooling in other Shi, Ku, Machi or Mura” increased by 0.7 percentage points, thus the percentages of those going to work or school increased. On the other hand, those who “Neither working nor attending school” decreased by 1.2 percentage points.

Figure 1. Population by Place of Work or School— Japan (2015 to 2020)



(Notice) The above figures are based on the results with imputation.

Table 1. Population and Employed persons by Place of Work or School — Japan (2015, 2020)

Place of work or schooling	Number		Change Number	Proportion (%)		Differences (percentage point)
	2015	2020	2015-2020	2015	2020	2015-2020
Total	127,094,745	126,146,099	-948,646	100.0	100.0	0.0
Neither working nor attending school 1)	47,812,586	45,971,683	-1,840,903	37.6	36.4	-1.2
Working or schooling in the same Shi, Ku, Machi or Mura	46,853,438	47,123,163	269,725	36.9	37.4	0.5
At home	6,420,597	6,577,533	156,936	5.1	5.2	0.2
Excluding working at home	40,432,841	40,545,630	112,789	31.8	32.1	0.3
Working or schooling in other Shi, Ku, Machi or Mura	32,428,721	33,051,253	622,532	25.5	26.2	0.7
Same prefecture	25,709,821	26,470,349	760,528	20.2	21.0	0.8
Other prefecture	6,718,900	6,580,904	-137,996	5.3	5.2	-0.1
Employed persons	63,409,191	64,995,224	1,586,033	100.0	100.0	0.0
Working or schooling in the same Shi, Ku, Machi or Mura	35,010,736	35,686,132	675,396	55.2	54.9	-0.3
At home	6,420,597	6,577,533	156,936	10.1	10.1	-0.0
Excluding working at home	28,590,139	29,108,599	518,460	45.1	44.8	-0.3
Working or schooling in other Shi, Ku, Machi or Mura	28,398,455	29,309,092	910,637	44.8	45.1	0.3
Same prefecture	22,575,091	23,493,685	918,594	35.6	36.1	0.5
Other prefecture	5,823,364	5,815,407	-7,957	9.2	8.9	-0.2

(Notice) The above figures are based on the results with imputation.

1) Labour force status: “Unemployed,” “Did housework,” and “Others”.

Ratio of Daytime Population to Nighttime Population by Prefecture

The ratio of daytime population to nighttime population was highest in Tokyo-to (119.2) and lowest in Saitama-ken (87.6).

- Daytime population by prefecture was as follows: Tokyo-to had the most people (16,752 thousand), followed by Osaka-fu (9,228 thousand) and Kanagawa-ken (8,306 thousand) .
- The ratio of daytime population to nighttime population by prefecture were as follows: Tokyo-to had 119.2, the highest, followed by Osaka-fu (104.4) and Kyoto-fu (102.0). In 16 prefectures, there were more people during the day than during the night. On the other hand, Saitama-ken had 87.6, the lowest, followed by Chiba-ken (88.3), and Kanagawa-ken (89.9).
- From 2015, Nara-ken increased the most, by 0.5 percentage points, Tokyo-to decreased the most, by 0.9 percentage points.

Figure 2. Ratio of Daytime Population to Nighttime Population— Prefecture (2020)

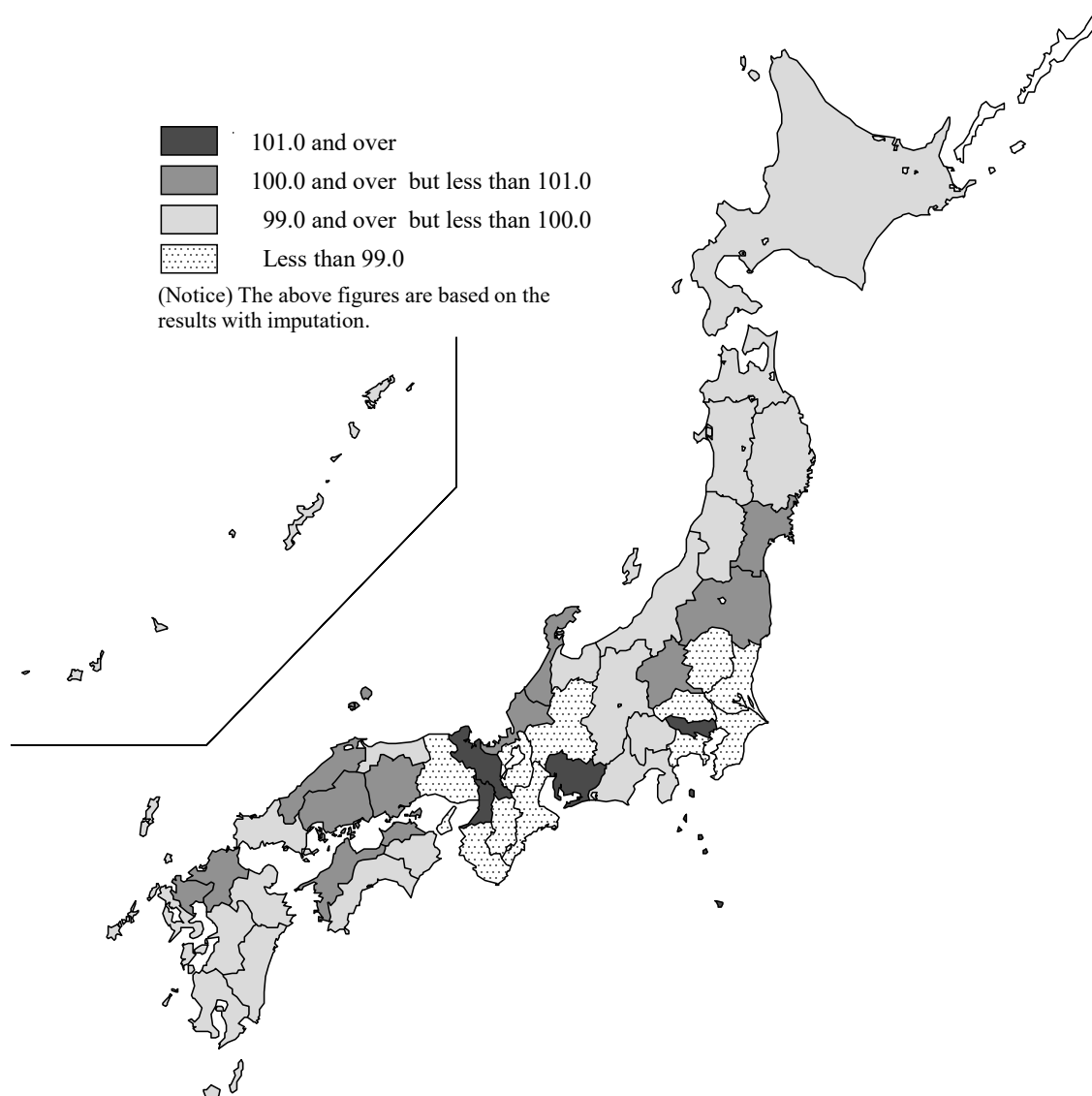


Table 2. Daytime Population and Nighttime Population, and Ratio of Daytime Population to Nighttime Population — Prefecture (2015, 2020)

Prefectures	Daytime population		Nighttime population		Ratio of daytime population to nighttime population				Differences (percentage point)
	2015	2020	2015	2020	2015	Rank	2020	Rank	2015-2020
Japan	127,094,745	126,146,099	127,094,745	126,146,099	100.0	—	100.0	—	0.0
Hokkaido	5,378,574	5,223,011	5,381,733	5,224,614	99.9	16	100.0	17	0.0
Aomori-ken	1,306,221	1,236,694	1,308,265	1,237,984	99.8	25	99.9	23	0.1
Iwate-ken	1,277,109	1,208,267	1,279,594	1,210,534	99.8	27	99.8	28	0.0
Miyagi-ken	2,340,238	2,303,524	2,333,899	2,301,996	100.3	6	100.1	14	-0.2
Akita-ken	1,020,663	957,802	1,023,119	959,502	99.8	31	99.8	26	0.1
Yamagata-ken	1,120,463	1,065,256	1,123,891	1,068,027	99.7	32	99.7	30	0.0
Fukushima-ken	1,918,157	1,834,783	1,914,039	1,833,152	100.2	8	100.1	12	-0.1
Ibaraki-ken	2,841,612	2,798,933	2,916,976	2,867,009	97.4	40	97.6	40	0.2
Tochigi-ken	1,954,842	1,913,612	1,974,255	1,933,146	99.0	37	99.0	37	-0.0
Gumma-ken	1,971,205	1,939,475	1,973,115	1,939,110	99.9	21	100.0	16	0.1
Saitama-ken	6,352,309	6,434,818	7,266,534	7,344,765	87.4	47	87.6	47	0.2
Chiba-ken	5,486,015	5,549,636	6,222,666	6,284,480	88.2	46	88.3	46	0.1
Tokyo-to	16,243,403	16,751,563	13,515,271	14,047,594	120.2	1	119.2	1	-0.9
Kanagawa-ken	8,196,565	8,305,714	9,126,214	9,237,337	89.8	44	89.9	45	0.1
Niigata-ken	2,302,596	2,200,535	2,304,264	2,201,272	99.9	19	100.0	18	0.0
Toyama-ken	1,064,187	1,032,879	1,066,328	1,034,814	99.8	28	99.8	27	0.0
Ishikawa-ken	1,156,324	1,134,490	1,154,008	1,132,526	100.2	10	100.2	7	-0.0
Fukui-ken	786,997	768,409	786,740	766,863	100.0	14	100.2	6	0.2
Yamanashi-ken	829,417	804,590	834,930	809,974	99.3	36	99.3	36	-0.0
Nagano-ken	2,094,478	2,042,473	2,098,804	2,048,011	99.8	29	99.7	31	-0.1
Gifu-ken	1,950,497	1,906,495	2,031,903	1,978,742	96.0	42	96.3	42	0.4
Shizuoka-ken	3,693,931	3,627,009	3,700,305	3,633,202	99.8	26	99.8	25	0.0
Aichi-ken	7,590,559	7,637,684	7,483,128	7,542,415	101.4	4	101.3	4	-0.2
Mie-ken	1,783,804	1,742,174	1,815,865	1,770,254	98.2	38	98.4	38	0.2
Shiga-ken	1,363,816	1,366,079	1,412,916	1,413,610	96.5	41	96.6	41	0.1
Kyoto-fu	2,659,386	2,629,414	2,610,353	2,578,087	101.9	3	102.0	3	0.1
Osaka-fu	9,245,167	9,227,865	8,839,469	8,837,685	104.6	2	104.4	2	-0.2
Hyogo-ken	5,272,203	5,209,889	5,534,800	5,465,002	95.3	43	95.3	43	0.1
Nara-ken	1,224,103	1,195,079	1,364,316	1,324,473	89.7	45	90.2	44	0.5
Wakayama-ken	946,239	907,795	963,579	922,584	98.2	39	98.4	39	0.2
Tottori-ken	572,563	552,250	573,441	553,407	99.8	24	99.8	29	-0.1
Shimane-ken	694,964	672,099	694,352	671,126	100.1	11	100.1	9	0.1
Okayama-ken	1,922,577	1,890,186	1,921,525	1,888,432	100.1	12	100.1	11	0.0
Hiroshima-ken	2,850,046	2,803,893	2,843,990	2,799,702	100.2	9	100.1	8	-0.1
Yamaguchi-ken	1,399,191	1,337,227	1,404,729	1,342,059	99.6	34	99.6	34	0.0
Tokushima-ken	752,867	716,553	755,733	719,559	99.6	33	99.6	35	-0.0
Kagawa-ken	978,862	951,414	976,263	950,244	100.3	7	100.1	10	-0.1
Ehime-ken	1,385,333	1,335,909	1,385,262	1,334,841	100.0	15	100.1	13	0.1
Kochi-ken	727,443	690,651	728,276	691,527	99.9	23	99.9	24	-0.0
Fukuoka-ken	5,103,248	5,136,448	5,101,556	5,135,214	100.0	13	100.0	15	-0.0
Saga-ken	836,717	817,005	832,832	811,442	100.5	5	100.7	5	0.2
Nagasaki-ken	1,374,174	1,308,735	1,377,187	1,312,317	99.8	30	99.7	32	-0.1
Kumamoto-ken	1,777,601	1,732,343	1,786,170	1,738,301	99.5	35	99.7	33	0.1
Oita-ken	1,165,478	1,123,167	1,166,338	1,123,852	99.9	20	99.9	20	0.0
Miyazaki-ken	1,103,353	1,068,556	1,104,069	1,069,576	99.9	18	99.9	22	-0.0
Kagoshima-ken	1,646,565	1,586,860	1,648,177	1,588,256	99.9	22	99.9	21	0.0
Okinawa-ken	1,432,683	1,466,856	1,433,566	1,467,480	99.9	17	100.0	19	0.0

(Notice) The above figures are based on the results with imputation.